

# 「中国語表示ない」「バス便増えれば…」

ネット上の書き込みを分析し  
自治体にフィードバック

没有中文廣告!  
(中国語の広告がないよね!)



中国人

熱烈歓迎!

中国語の広告  
を新設

④改善策  
を実施

①外国語のSNS  
やブログ情報  
を収集

日本IBM

②集めた情報  
を分析

③分析情報  
を提供

自治体

地方部の方が三大都市圏に比べて  
外国人宿泊者の伸びが大きい



日本IBMは地方自治体向けに訪日外国人客の誘致を支援する事業に乗り出す。訪れた外国人客がインターネットに書き込んだ口コミや感想などを収集・分析し、改善点を自治体などにフィードバックする。訪日客のニーズをとらえ、観光客増につなげる。まず北海道釧路市から受注した。2017年末までに全国10程度の自治体に導入したい考えだ。

日本IBMが、自治体に関する情報を世界中のサイトから100万件程度抽出し、分析する。

同社は米国と中国、香港インドの4拠点に分析チームを設置した。まず英語と中国語でホームページやブログ上で記述ス便がない。増えれば

例え、「この観光施設の案内に中国語表示が見当たらず、不便」といった不満や、「この区間はバス便が少ない。増えれば

例えば、「この観光施設の案内に中国語表示が見当たらず、不便」といった不満や、「この区間はバス便が少ない。増えれば

仕組みにする。12月ごろ

最初に受注した釧路市

## 日本IBM 自治体の観光支援

# 訪日客の書き込み分析

日本IBMは外国人向けに観光情報を提供する。スマートフォン向けアプリの開発も受託する。飲食店や交通手段などを含めた情報を外國語で伝え

る。携帯電話の電波が届かない地域でも利用できることによる、端末上にコピーした情報が閲覧できる

仕組みにする。12月ごろ

最初に受注した釧路市

は市内に宿泊する訪日客数を20年に15年度実績比2倍超の27万人まで増や

すことを目指している。

日本IBMは大企業や

観光庁の「宿泊旅行統

計調査」によると、外國

人の宿泊者数は三大都市

圏の方が地方部より多い

が、伸び率は地方部が上

回る。20年に訪日客で現

行の2倍の4000万人

をめざす政府も地方への

誘客を後押しする方針

だ。官民が連携して観光

の地域戦略を練る新組織

の立ち上げなどを促して

いる。

地方自治体はこうした

外国人客を取り込み、觀

光による地域活性化に力

た。増加が続々、外国人観

光客に焦点を当てた事業

などは今後地方でも大き

く伸びると判断。新しい

市場として地方を開拓

し、収益の上積みを目指

す。

上に外国語で飛び交うデ

ータの分析は苦手なこと

が多い。

中央官庁を顧客として抱

えている。このため、地

方での事業は少なかつ